

組合だより

【 第 3 1 8 号 令和 2 年 1 2 月 日本羊腸輸入組合 】

理事会等

○ 1 1 月 1 7 日 令和 2 年度 第 3 回 正副理事長会議

今年度 第 3 回 正副理事長会議を開催し、定款変更に関する事務局案について検討しました。その結果、然るべき時点で理事会に諮るよう準備を進めることとしました。

また、この機会に経済産業省農水産室長を訪問し、最近の天然腸業界及び組合活動の状況を報告しました。併せて、農林水産省動物衛生課及び厚生労働省食品監視安全課を訪問しております。

事務局

○ 1 1 月 9 日 2 0 2 1 年版 卓上カレンダー（有償分）を発送しました。

○ 1 1 月 1 1 日 組合事業と財政健全化のアンケート調査に御協力いただいた組合員を対象に、提案のあった事業の具体化のための更なる検討を依頼しました。なお、アンケート結果の内容は、会員ページに掲載しております。アンケートに御回答のなかった組合員からの御意見もお待ちしております。

○ 1 1 月 1 3 日 「令和 3 年度 経済センサスのための企業構造の事前確認調査」に回答しました。

○ 1 1 月 2 5 日 天然腸輸入報告統計協力 1 1 社に対し、1 0 月分の結果報告と 1 1 月分の報告依頼を行いました。

○ 1 1 月 2 5 日 I N S C A ・ I C T R 議長から、A S F に関連した日本の塩蔵ケーシング輸入について質問があり、家畜衛生条件で規定する豚腸の塩蔵条件を回答しました。

統計

*統計の詳細は組合ホームページで御確認下さい。

【財務省貿易統計】

令和2年10月の天然ケーシング輸入量は、次のとおりです。

- ・総輸入量 312.5t(前月比△ 81.1t、79.4%/前年同月比△ 74.6t、80.7%)
- ・中国原産 187.4t(// △ 48.8t、79.4%/ // △ 16.0t、92.1%)
- ・豪州原産 68.2t(// + 42.0t、260.4%/ // + 1.2t、101.9%)
- ・NZ原産 48.6t(// △ 72.6t、40.1%/ // △ 49.1t、49.7%)

【ソーセージ生産量（日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べ）】

令和2年9月のソーセージ生産量は、次のとおりです。

- *ソーセージ類合計生産量 : 24,844.7トン(前年同月比: 95.5%)
- ・ウィンナーソーセージ : 19,059.9トン(// : 96.7%)
- ・フランクフルトソーセージ : 2,344.0トン(// : 85.3%)

HP更新内容（統計関係を除く）

- これまでの国際的な人の往来活性化の経緯や新たな措置の概要（手続き・必要書類等）に関するオンライン説明会について（経済産業省からの周知依頼）
- 最近の新型コロナウイルス感染状況を踏まえた「寒冷な場面における新型コロナウイルス感染防止等のポイント」について（経済産業省からの周知依頼）

参考情報・お知らせ

- 再掲：令和3年新年賀詞交歓会は、新型コロナウイルス感染予防のため中止いたします。
- 11月12日、食品安全委員会・プリオン専門調査会が開催され、牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直し（SRMの範囲）に係る食品健康影響評価について審議を行い、今後評価書案の作成を進めることになりました。
当日配布された「資料3-1：各国のSRMの概要」を参考まで掲載します。

各国のSRMの概要(2020年10月末現在)

	OIE*	日本	日本(厚生労働省諮問案)	EU	米国	カナダ
無視できるリスクの国	(SRMの設定を求めている)	<p>・全月齢の扁桃及び回腸(盲腸との接続部分から2メートルまでの部分に限る。)並びに30か月齢超の頭部(舌、頬肉、皮及び扁桃を除く。)及び脊髄</p> <p>・30か月齢超の脊柱(背根神経節を含み、頸椎横突起、胸椎横突起、腰椎横突起、頸椎棘突起、胸椎棘突起、腰椎棘突起、仙骨翼、正中仙骨稜及び尾椎を除く。)</p>	<p>・全月齢の扁桃及び回腸(盲腸との接続部分から2メートルまでの部分に限る。)並びに30か月齢超の頭部(舌、頬肉、皮及び扁桃を除く。)及び脊髄</p> <p>・30か月齢超の脊柱(背根神経節を含み、頸椎横突起、胸椎横突起、腰椎横突起、頸椎棘突起、胸椎棘突起、腰椎棘突起、仙骨翼、正中仙骨稜及び尾椎を除く。)</p>	<p>・12か月齢超の頭蓋(下顎を除き、脳、眼を含む。)及び脊髄</p>	<p>・30か月齢以上の脳、頭蓋、眼、三叉神経節、脊髄、脊柱(尾椎、胸椎及び腰椎の横突起並びに仙骨翼を除く。)及び背根神経節</p> <p>・全月齢の扁桃及び回腸遠位部</p>	
管理されたリスクの国	<p>・30か月齢超の脳、眼、脊髄、頭蓋骨及び脊柱</p> <p>・全月齢の扁桃及び回腸遠位部</p>			<p>・12か月齢超の頭蓋(下顎を除き、脳、眼を含む。)及び脊髄</p> <p>・30か月齢超の脊柱(尾椎、頸椎、胸椎、腰椎の棘突起及び横突起並びに正中仙骨稜、仙骨翼を除き、背根神経節を含む。)</p> <p>・全月齢の扁桃並びに小腸の後部4メートル、盲腸及び腸間膜</p>		<p>・30か月齢以上の頭蓋、脳、三叉神経節、眼、扁桃、脊髄及び背根神経節</p> <p>・全月齢の回腸遠位部</p>

*:OIEのBSEコードにおけるBSEの定義には非定型BSEは含まれていない。
 (For the purposes of official BSE risk status recognition, BSE excludes 'atypical BSE' as a condition believed to occur spontaneously in all cattle populations at a very low rate.)

今後の主な予定

- 令和3年 —
- 1月13日(水) 令和2年度第4回理事会
(新年賀詞交歓会は開催しません)
- 3月17日(水) 令和2年度第5回理事会
- 4月15日(木) 監事監査
- 4月21日(水) 令和2年度第6回理事会
- 5月28日(金) 第58回通常総会

以上